

宮前区のミライづくりプロジェクト「ネット質問フォーム」 御質問に対する本市の見解について

1 概要

鷺沼駅周辺では、現在、市街地再開発組合による取組が進められており、川崎市では、再開発の機会を捉えて、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、平成 31（2019）年 3 月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。

この方針に基づく取組を「宮前区のミライづくりプロジェクト」と名付け、「新宮前市民館・図書館・区役所の移転・整備」、「現在の区役所などの施設や用地の活用」、「向丘出張所の機能のあり方」、「駅へのアクセス向上」等について、検討を進めています。

この度、「宮前区のミライづくりプロジェクト オープンハウス型説明会」を開催するとともに、本プロジェクトへの御質問をいただく機会として「ネット質問フォーム」を設置しました。設置期間中にいただきました **7 通 8 件**の御質問について、質問の要旨とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 「ネット質問フォーム」の概要

設置期間	令和 7（2025）年 2 月 7 日（金）～3 月 31 日（月）
質問の提出方法	ホームページの質問フォーム又は F A X
募集の周知方法	・ 本市ホームページ ・ 宮前区のミライづくりプロジェクトニュース第 6 号（令和 7 年 2 月発行）
回答の公表方法	・ 本市ホームページ（令和 7（2025）年 5 月時点）

3 質問の件数と内訳

項 目	件数
(1) 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組について	1
(2) 再開発事業に関する取組について	7
合 計	8

※ 1 通の質問フォームの中に複数の御質問が含まれていた場合は、項目に合わせて分割・整理するとともに、長文の御質問は必要に応じて要約しています。

4 御質問に対する市の考え方

(1) 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>現在の区役所などの公共施設移転を待たず東急ストア宮前平店が閉鎖されます。近隣住民はこの影響や不確かな情報、例えば他の商業施設の閉鎖の噂で、将来的な買い物難民化などへの不安が深まっています。区役所等の跡地が民間の開拓対象になると、この地域は生活インフラが著しく弱体化することが懸念されます。</p> <p>このような不安に対し、区役所等の跡地利用について、より早期に方針を示していただきたいと思えます。跡地は民間に委ねるよりは、行政主導で近隣住民の生活基盤の確保と安定化を目指す、また、公共施設や買い物施設を設置する方針を希望します。</p>	<p>現宮前区役所等の施設・用地の活用に向けては、①市による施設・用地の保有、②宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理、③市民参加による検討、の3つの考え方により検討を進めることとしています。</p> <p>活用の考え方を定める「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針(以下、活用基本方針)」の策定については、これまでにワークショップなど、様々な取組を行ってきたところであり、現在の区役所等の移転時期を踏まえて令和10(2028)年度に策定する予定としています。</p> <p>活用基本方針は、様々な要素を勘案する必要があると考えており、行政需要との調和や、民間事業者からの事業性等の確認に加え、周辺エリアの動向についても注視しながら、この場所に相応しい、持続可能性を考慮した検討を深めていきます。</p>

(2) 再開発事業に関する取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>自家用車送迎用の車寄せはありますか？</p>	<p>現在の計画では、駅前街区南側に「鷺沼駅南口駅前広場」が整備され、一般車の乗降場を設ける予定になっており、令和6(2024)年4月に準備組合により公表された条例環境影響評価書の交通広場等動線計画(評価書65ページ・図1-20)において、市道鷺沼36号線から出入りすることが示されています。</p> <p>※評価書は以下から閲覧いただけます。 https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000165416.html</p>
2	<p>バスロータリーはたまプラーザ駅のバスロータリーのように空の见えない閉鎖空間ですか？</p>	<p>交通広場については、限られた敷地の中で、商業・業務・公共施設など多様な都市機能の集積を図るとともに、交通結節機能の再編に必要な空間を確保するため、建物の1階部分に配置され、鉄道とバスの乗換時に雨に濡れずにムーズに移動できるよう計画されています。</p> <p>交通広場の空間としては、久末鷺沼線及び駅前広場に面して開口部を設けるとともに、バスなどの通行に十分な階高が確保される予定です。</p>

3	<p>鷺沼に住んで5年目、この街がとても気に入っています。ここで子供が2人生まれ、自宅を購入し、会社も近いため私達家族がこれからも長く住む街です。そんな中で再開発の計画が動き出し、とてもワクワク楽しみにしています。</p> <p>昔から住んでいる方や様々な事情を抱えた方、中には反対意見を述べる方もいると思いますが、是非とも現状よりも規模を小さくしたり、反対意見に負けてパッとしない折衷案に妥協したりすることなく、キラキラとした未来志向の新しい駅前にして頂きたいと思います。</p> <p>過去の質疑の記事ではとてもネガティブな市民の意見を目にしてゲンナリしたので、再開発を応援している市民の声をあげさせて頂きました。よろしくお願いします。</p>	<p>鷺沼駅前再開発事業の推進にご期待いただきありがとうございます。</p> <p>本事業は、交通広場を拡充し交通結節機能の再編を図るとともに、官民連携により、商業・業務・公共など多様な都市機能の集積を図ることによって、昭和30年代以降に都市化が進んだまちの次の100年に向けて、災害に強く、多様なライフスタイルに対応したまちづくりを推進し、駅前だけでなく、宮前区全体の活性化を促す核としての地域生活拠点の形成を図るものです。</p> <p>事業スケジュールにつきましては、令和6年11月に組合設立認可を行ったところであり、令和13年度に駅前街区工事完了、令和17年度に北街区工事完了を予定しています。</p> <p>引き続き、より効率的・効果的な事業となるよう組合と調整しながら、着実に事業を進めていきます。</p>
4	<p>東急田園都市線の鷺沼駅からの利用者が更に増えることで電車に乗れなくなることや、ホームに人が溢れてしまわないかとても不安です。</p>	<p>鉄道や駅の混雑については、ホームドアの設置による利用者の安全性向上など、鉄道事業者により様々な取組が実施されているものと認識していますが、鉄道事業者に対しては、引き続き、取組の推進を働きかけていくとともに、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、鉄道施設のあり方の検討についても要望していきます。</p>
5	<p>高層マンションで人口が増え、小学校や中学校も今のままで足りるのか心配です。</p>	<p>令和6(2024)年4月に準備組合により公表された条例環境影響評価書のコミュニティ施設(評価書655ページ)において、学校をはじめとしたコミュニティ施設等の環境配慮項目に関する予測が示され、鷺沼小学校は4教室分、宮前平中学校は1教室分の対応が必要であると予測されていますが、準備組合にて、計画戸数、供用時期等の事業計画が確定次第、速やかに市に報告するとともに、入居世帯における、児童及び生徒数の増加に関連する状況について、入居開始前までに市に報告するなど、環境保全のための措置を講じることで計画地周辺地域の生活環境の保全に支障はないものと評価されています。</p> <p>将来の児童生徒数につきましては、周辺の開発や転出入の動向、社会経済状況や出生率の変化等により、変動していくものと考えています。今後も、こうした変化を適宜、児童生徒数の推計に反映させ、教室不足が生じることがないように、学校とも調整を行いながら、教室の転用や増築な</p>

		<p>ど、必要に応じて対応を図ることで良好な教育環境の確保に努めていきます。</p> <p>※評価書は以下から閲覧いただけます。</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000165416.html</p>
6	<p>再開発で鷺沼駅を中心に宮前区がさらなる発展を遂げることをとても楽しみにしています。</p> <p>一方で鷺沼北口側が鷺沼再開発に取り残されることを懸念しています。新しく整備される南口へのアクセスを良くするために、鷺沼駅舎自体のリニューアル・南北自由通路化も再開発の中で東急電鉄と協力して検討していただきたいです。特に、北口は昭和大学の新設で改札利用者が増加する事が予測されるため、駅を中心とした発展に駅自体が妨げとならないよう、また発展の恩恵が駅の南北で偏らないように何卒よろしく願いいたします。</p>	<p>鷺沼駅及び駅北側については、再開発事業区域に含まれていませんが、組合からも「駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉えた魅力的な駅まち空間の実現」や「線路を挟んだ南北のまちの一体感の醸成」等に向けて、関係者との調整等を行う旨が示されています。</p> <p>引き続き、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、組合や鉄道事業者とも調整を行いながら、取組を推進していきます。</p>
7	<p>駐輪場について伺いたい。鷺沼駅北側は開発区域外だが、北側（鷺沼 3 丁目・4 丁目、土橋 4 丁目）はマンションが多く住人も多いというのに、駅北口改札ができて駐輪場が撤去されてから今日まで駐輪場はなく、小台の線路沿いと有馬側の少ないスペースの争奪戦となっている。有馬側の駐輪場に至っては、駅を越えて行って見て、結果止められないかもしれないという理不尽さである。その上、大型の電動アシスト自転車に対応するスペースはほとんどない。東日本大震災の頃にオープンしたフレルの駐輪場も電動自転車用に作られていなかった（スタンドの幅が狭くて、かごに隣の自転車のハンドルがささって壊れたこともある）。</p> <p>前回までの質問に対する回答として、北街区に住民用 160 台とあったような記憶があるが、野川・有馬側から流れてくることも考えられ、駅北側の住民用としてはあまりに少な過ぎる。坂が多く、買い物に行っ</p>	<p>再開発事業における駐輪場と台数については、令和 6（2024）年 4 月に準備組合により公表された条例環境影響評価書の自転車動線計画（評価書 59 ページ・図 1-18）において、駅前街区は商業・業務・公共施設用として地下 1 階に約 650 台、住宅用として地下 1 階に約 520 台、北街区は公共施設用として 1 階に約 100 台、住宅用として 1 階に約 160 台が計画されており、「川崎市自転車等駐車場の附置等に関する条例」に基づき、概ね適切な台数が配置されていることの確認を行っています。</p> <p>様々な方が利用しやすい駐輪場施設等の整備については、今後組合と協議調整を図っていきます。</p> <p>※評価書は以下から閲覧いただけます。</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000165416.html</p>

<p>でも帰りの荷物を心配する北側の住民が、自転車やこれから増えていくだろう高齢者のシニアカーを定期利用以外でも安心して止めておけるよう、適切な駐輪場の整備を切にお願いしたい。</p>	
--	--